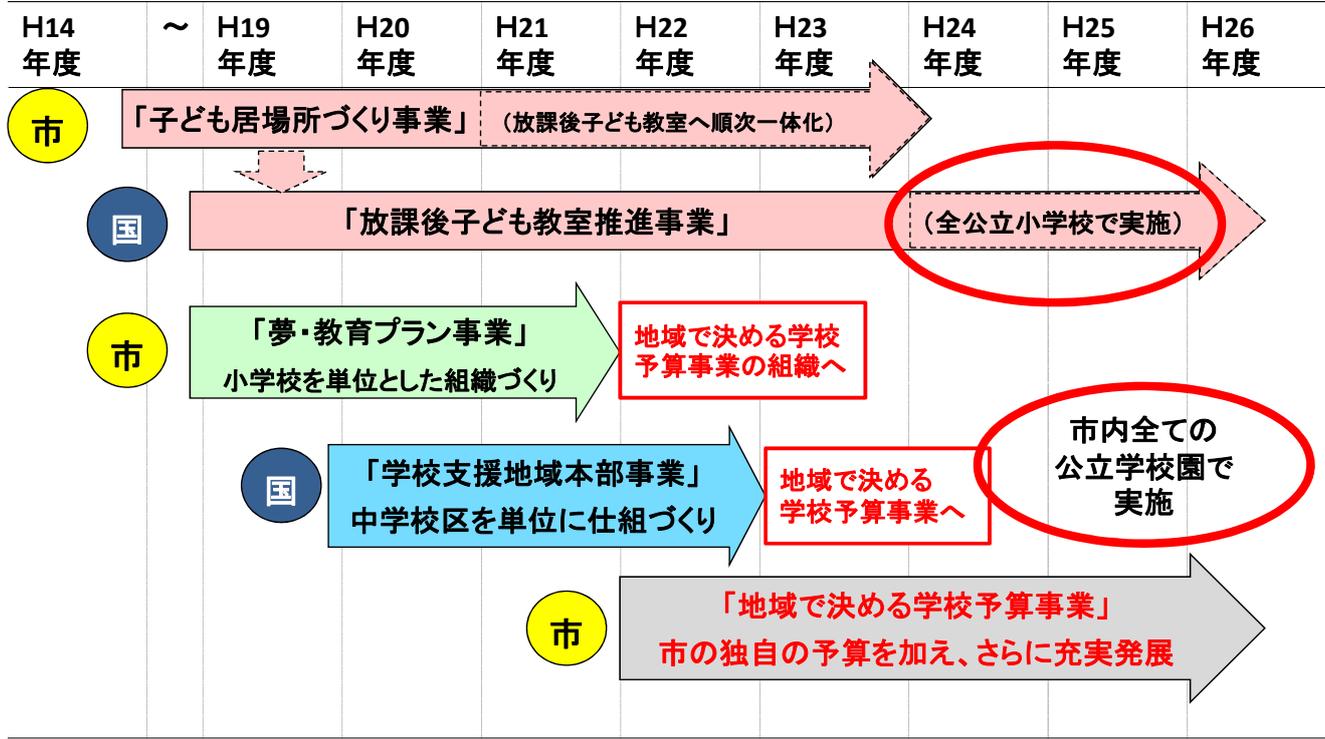


# 奈良市地域教育協議会における コミュニティ・スクールの方向性

奈良市立富雄中学校区地域教育協議会  
代表コーディネーター 都築由美

## 1. 奈良市の取組

### 奈良市の地域連携の取組の経緯



# 奈良市地域教育推進事業

## 放課後子ども教室推進事業

- ・子どもたちの安全・安心な居場所づくり
- ・心豊かで健やかに育まれる環境づくり

・**小学校区単位**で、地域の方の参画を得て、小学生に様々な体験・交流・学習活動の機会を提供。

(目的)

(内容)

## 地域で決める学校予算事業 (学校支援地域本部事業)

- ・子どもたちの教育活動の充実
- ・地域の教育力の再生
- ・地域コミュニティの活性化

・**中学校区単位**で、地域の人材や環境を生かした特色ある教育活動を展開。

コーディネーター研修  
年間6回

教員研修  
地域学校連携講座  
年間3回

地域教育協議会会長・  
総合コーディネーター  
合同会議

交流の集い (平成27年2月21日)

## 地域で決める学校予算事業

### 予算の配分

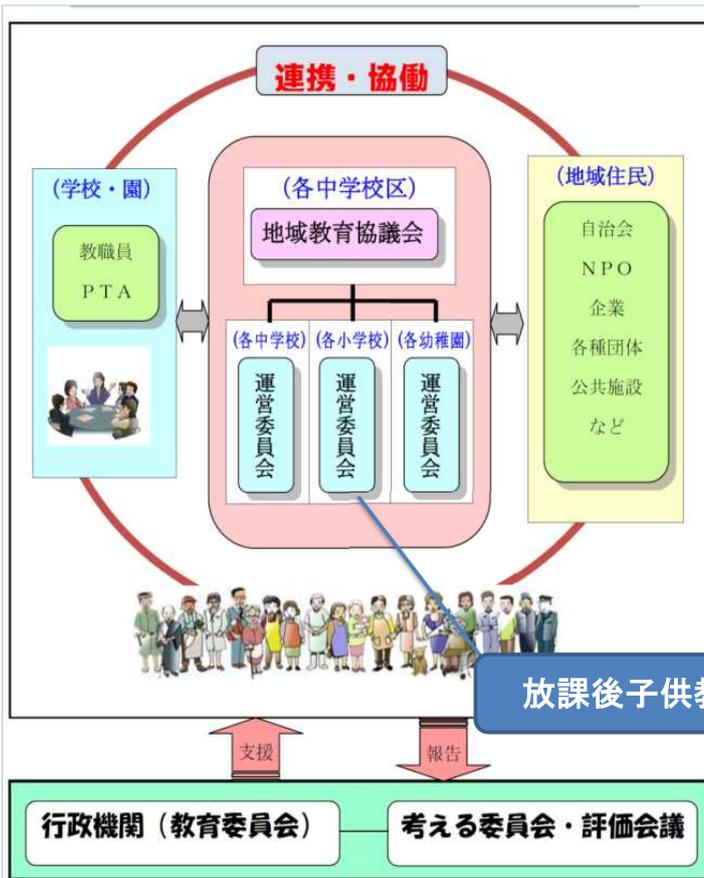
- 地域に事業を委託。学校や地域の実態に応じて、使い道が決められる
- 地域教育協議会で協議し、地域分・学校園分を配分

### 配分の例

#### 中学校区(1中学校・2小学校・1幼稚園)の場合

(中学校区の事業)	中学校区	90万円	320万円
(学校園の事業)	中学校	70万円	
	A小学校	70万円	
	B小学校	60万円	
	幼稚園	30万円	

# 事業を推進する組織体制

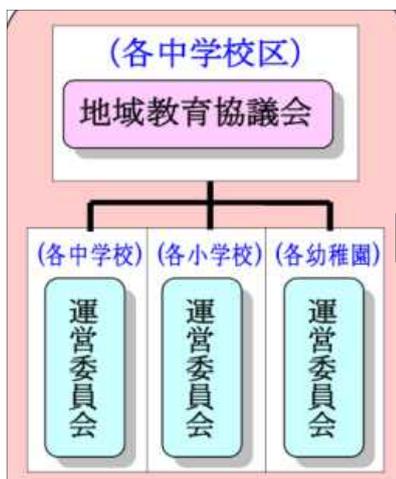


## 奈良市の特色

- ・国の「学校支援地域支援本部事業」をすべての中学校で受けた→足並みが揃っている
- ・幼稚園にも運営委員会が設けられている→幼・小・中の活動の連携、コーディネーターの交流が活発
- ・評価会議での報告とプレゼン  
→コーディネーターのやる気の持続

# 奈良市コーディネーター

## コーディネーターの位置づけ



- (各地域教育協議会)  
総合コーディネーター  
地域コーディネーター
- (各運営委員会)  
代表コーディネーター  
地域コーディネーター  
放課後子ども教室コーディネーター (小学校)

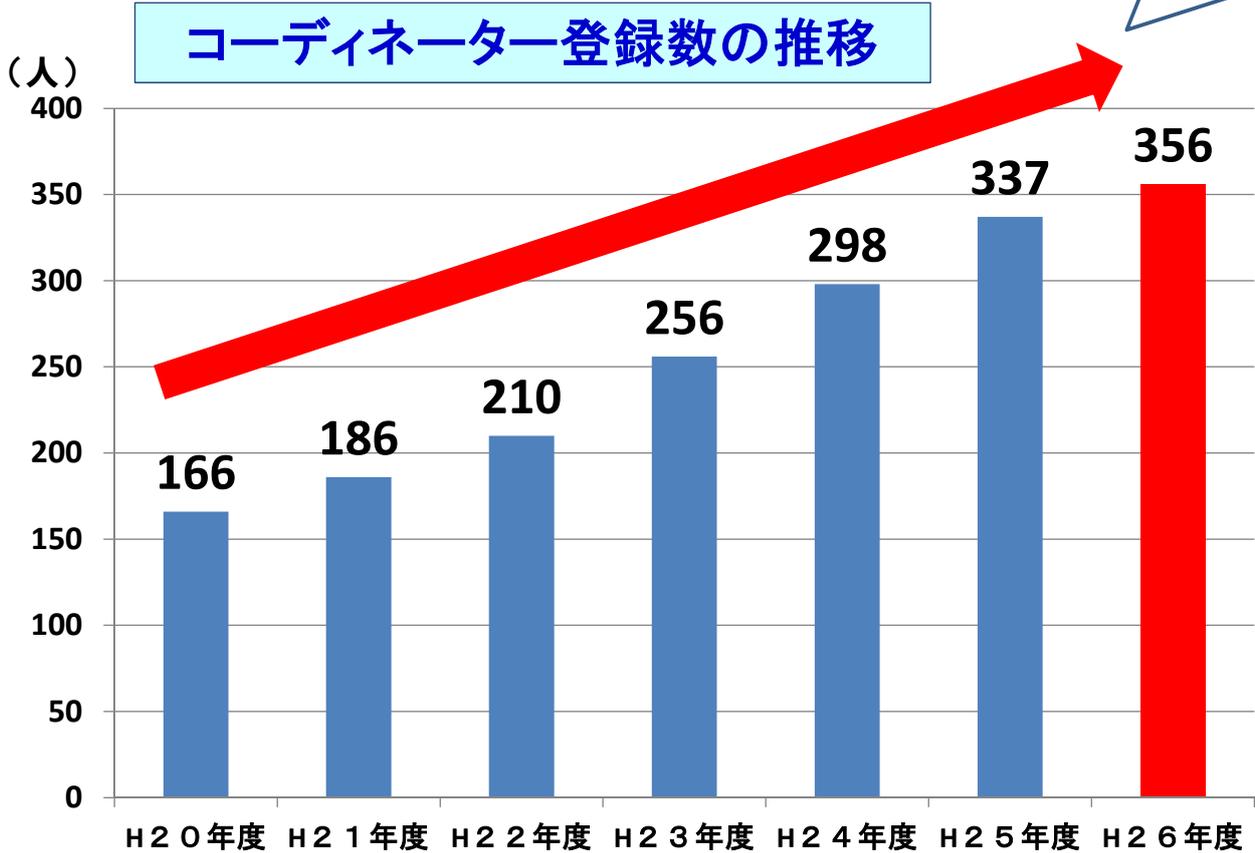
## コーディネーターの役割

- 協議会(会長)  
学校(管理職・担当教員)  
地域(ボランティア)  
行政(担当課)

↓  
連絡と調整  
事業の運営

## 2. 取組の成果

コーディネーターが  
コーディネーターを呼ぶ



## 奈良市コーディネーター勉強会

- \* 地域学校連携の持続発展
- \* 自立したコーディネーターのネットワークや組織の構築
- \* 奈良市全体を考えるコーディネーターの活動促進と課題解決

コーディネーターの主体的な活動  
→ 自立した市民への1歩  
行政がサポート  
→ 市民との協働



平成26年6月20日 市役所正庁  
**第1回奈良市コーディネーター研修会**  
**『初任者研修』実施**



### 3. 取組の課題

平成25年度奈良市地域教育推進事業に関する アンケート調査より

事業全体に対する意見一会長(概要)

成果

地域もコーディネーターも目に見える結果が経験でき、楽しく参加できている。地域の方も生きがいとしての活動となり、自分たちの学校という共通の意識が出来上がってきた。

今後も予算も含めて継続して積極的に推進することを切望する。

課題

この事業の地域連携は、あくまでも教育向上や徳育教育の地盤であり、連携そのものが事業の目的ではないと思う。

→計画(P)、実施(D)から、その先へ

成果

活動を精査してコーディネーター活動の負担を減らしていくが、活動に生きがいというか楽しく活動できれば自ずと新たな創造が生まれてよい相乗効果になっている。

課題

学校として真に求めている事業を行っているかどうか疑問を感じる。

↓  
「熟議」の必要性



# 事業全体に対する意見 総合CN(概要)

毎年少しずつ前進している。これからは地域で手を取り合い、学校園を支えていきたい。

課題

教員がどんなボランティアを求めているのか。また、ボランティアが入ることで教員に精神的・事務的な負担が増えるのではと懸念される。払拭が大きな課題だと感じている。

学校のマネジメント

いつまで続けていただけるのか、予算の都合でと突然打ち切りとならないか心配である。

それぞれの地域性があったとしても、奈良市が進めてきたこの流れを決して後退させてはならないと思う。そのために繰り返し勉強をしていかなければならないと思う。

コーディネーター自身の報償費を管理することに難しさを感じる。



## 4. 奈良市の地域教育協議会における コミュニティ・スクールの方向性

地域教育協議会をベースとした学校運営協議会へ(提案)

### 地域教育協議会の財産

- ・コーディネーターという人財
- ・多様な活動経験の蓄積
- ・人や組織のネットワーク
- ・地域とのつながり
- ・学校への愛着

+

### 学校運営協議会の機能

- ・保護者や地域の意見を学校運営に反映
- ・教育委員会へ意見
- ・熟議の機会

# 三笠中学校の学校運営協議会委員 の構成

自治会役員関係	4名
現PTA役員	2名
元PTA役員	2名
教職員	3名
学識経験者	2名
その他(協議会会長、コーディネーター、民生委員、少年指導員など)	8名
合 計	21名

## 三笠中学校区の小学校教職員との 懇談会



学校運営協議会委員が  
学校を訪問し教員研修に参加、  
CSの機能を説明。